

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年10月28日

事業所名 望あゆみ野大古曾

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用者のスペースを広く取っている	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		バリアフリーな環境である	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	開所1年未満であり、業務改善までは至っていない	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画する
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			評価表だけでなく、様々な機会を通じて保護者の意向は常に把握するおうに心がける
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		開所後1年未満であり、今回初めて公表する。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価を受けていない	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげる
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修会だけでなく様々な学びの機会を提供する
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			より適切な放課後等デイサービス計画を作成する
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			スタッフ全員で立案できるようにチーム力の向上を目指す
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		開所後1年未満であり、プログラムの固定化まで至っていない	活動プログラムが固定化しないよう工夫する
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援する
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの状況に応じて個別活動が中心	集団活動を取り入れられないか検討していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	緊急時以外は、翌日に申し送りをしている	当日送迎前にスタッフで振り返る時間を設ける
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		システムを導入し、複数のデバイスから必要な時に記録することができる	ICT化を進め、さらに業務改善を進める
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断する
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		求めに応じて会議等に看護師を出席させている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校と常に連絡を取っている	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主治医と連絡体制を整え、定期的に報告している	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		各関係機関と情報共有している	情報共有と相互理解に努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		各関係機関と情報共有している	障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		助言や研修を受けている	積極的に助言や研修を受けていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		現在は、新型コロナウイルス蔓延防止の為、実施なし	感染防止対策を行い、放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を設ける
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	(自立支援)協議会には参加していないが、地域の子育て支援協議会等へは、積極的に参加している	(地域自立支援)協議会等へ参加する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つ
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	新しい療育機器などが入った時は保護者の見学会等は設けているが、ペアレント・トレーニング等の支援はまだ行っていない	保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行う
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談されたら必要な助言と支援を行っている	積極的に事業所側から助言や支援の提案を行う
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	父母の会の活動には参加したが、保護者同士の連携支援までは至っていない	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応する
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報等の発行は、していないが、活動概要や行事予定、連絡体制等は保護者に知らせている	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信する
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	障がいのある子どもの意思の疎通や情報伝達のための配慮をどのようにしていくか模索中	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をする
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在は、新型コロナウイルス蔓延防止の為、関係者のみとし、地域住民を招待する等の活動は実施なし	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図る

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを策定したが、保護者に周知はしていない	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	マニュアルを策定したが、訓練の実施はまだ行っていない	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	児童発達支援計画に盛り込んでいない	身体拘束について、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	現在はまだ食事の対応はしていない	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき食事の対応をする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	開所1年未満であり、当事業所独自の事例集までは作成できていない	独自のヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有する